



飛翔天中

～明日も行きたくなる学校 会いたくなる友だちや先生 受けたくなる授業～

R4. 2. 12 発行

立志の会あいさつ

校長 平田 睦

2年生の立志の会が先日ありました。以下は、そのときの校長あいさつです。

今日は、皆さん一人一人の成長の節目の日です。まっすぐ伸びている竹には必要なところに規則正しく節ができて、高くしなやかに伸びていけます。私たちが年を重ねていく過程にもいくつもの節目があります。

今日の立志の会はその節目の一つです。「吾れ十有五にして学に志す」という孔子の言葉のように、やがて十五歳、中学3年生になる皆さんが これからの自分の生き方を考え、学び、身に付けていくことを強く決意する機会にする大切な行事です。

3年生はこの時期、私立高校の入学試験が終わり、4週間後には公立高校の入学者選抜学力検査があります。そして、3月15日には卒業式を迎えます。ちょうど一年後は、皆さんが進路決定の最終の挑戦、そして、いよいよ卒業という頃になります。これからの一年間は、卒業後の自分の進むべき道について考え、悩み、実現に向けてしっかりと進んでいかなければなりません。校訓の「立志」、「誠実」、「不屈」。これらを胸に天城中生として、これから自分の夢や目標を叶えるために気持ちを新たに生活していくことを期待します。

夢や目標を叶えると言えば、アメリカ大リーグで活躍している大谷翔平選手のことが思い浮かびます。大谷選手が夢を叶えることができたのは、野球の知識や技術、才能だけではなく、夢を叶えるための目標設定の仕方にも要因があったと言われていました。皆さんに配布してあるプリントにあるのは、大谷選手が高校1年生、16歳のときに立てた「目標達成シート」です。この目標達成シートを見て、すごいと思うのは、まず、柔軟な考え方。野球でプロを目指すという大目標に向かってまず立てた八つの要素には、野球に関係することは4つ。あとの4つは、「体力づくり」「メンタル」「人間性」「運」といった野球とは直接関係しないことが挙げてあります。視野を広く柔軟に論理的に物事を考えていることが伺えます。もう一つは、3年後を見据えた明確な目標達成への道筋が示されていること。大谷選手は、高校1年生でこの目標達成シートを作り、このシートの内容に一つ一つ丁寧に取り組んだことが大きな飛躍につながったのだろうと想像します。今でも、米大リーグで試合中にもごみを拾ってポケットに入れる様子や審判への誠実な態度等、目標達成シートに書かれていることを実行している姿をテレビ画面を通して見るがあります。

配布したプリントの裏面には、まだ何も記入されていない「目標達成シート」を載せました。4か月後(地区中学校総合体育大会開催)や、1年後(受験期)の自分の姿を考えて、大目標を真ん中に書いてみてはどうでしょう。全部のマスを埋められなくても、難しく考えずに思いつくことをどんどん書いて、また思いついたときに書き足していく、というくらいの気持ちで関心のある人はやってみてください。

保護者の皆さま、お子様のご成長おめでとうございます。立志を迎えるこの時期は、自立へ向けて準備を始める時期で、親の出番のときでもあります。手をかけすぎでは自立できません。目を離してしまっただけでは親の役目は果たせません。人生の先輩として、社会のことや仕事のこと、世の中のこと、厳しさや自己を律するという事などについて、ご自身の体験を交えて折に触れて語っていただければと思います。

さて、今日は、季節の分かれ目「節分」。そして明日は、春のはじまりの日「立春」です。今日の決意をしっかりと胸に刻み、明日の春のはじまりとともに新たな希望に向かって歩み始めましょう。しなやかでたくましい歩みを期待し応援しています。



【14歳の決意発表】



【誓いのことば発表】

【記念講演(先輩に学ぶ)】
講師：具志堅亮主任学芸員